

# 指導事例集

## 地歴・公民科

地歴・公民科の研究の概要	41
指導事例 1 「現代社会」の少人数授業における指導と評価	42
指導事例 2 「地理 B」の地理的スキルを高める指導と評価	56
指導事例 3 「日本史 B」の人物学習における指導と評価	66
成果と課題	80

## 地歴・公民科の研究の概要

学習指導においては、指導と評価の一体化が重視されており、教師は適切な評価を行い、指導の改善に生かすことによって指導の質を高める必要がある。生徒自身も学習計画を理解しながら授業に参加し、自己評価を行うことにより、自らの学習を主体的に進めることが大切である。

一方、地歴・公民科の授業やテストでは、4観点のうち「知識・理解」のみに偏った指導や出題が依然として多く見られることが指摘されている。

そこで、この研究では、「知識・理解」だけでなく、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「資料活用の技能・表現」という観点別の評価規準を作成して、学習の前や学習の過程における評価を行い、指導の改善に生かす評価の在り方を探るとともに、生徒による自己評価や相互評価など、様々な評価の工夫にも取り組んだ。

各指導事例の概要を以下に示す。

### 指導事例1 「現代社会」の少人数授業における指導と評価

少人数授業には、「生徒の多様な学習状況や興味・関心に応じたきめ細かな指導がしやすい」「生徒一人一人の発言機会が増える」などのメリットがある。この指導事例では、少人数授業における指導と評価の在り方を探ることをねらいとして、単元開始時には生徒一人一人のこれまでの学習状況を把握し、学習指導の過程においては4観点別の評価規準に基づく評価を行った。また、生徒の相互評価と自己評価も行った。

### 指導事例2 「地理B」の地理的スキルを高める指導と評価

「世界の人口問題」について、地域性に着目してその現状や課題をとらえさせることを目指した。人口問題に関する資料やグラフを読み取ったり統計をグラフに表したりして地理的スキルを高め、読み取った内容をもとに、背景や要因などを考察させた。単元開始時や学習指導の過程における評価、生徒の自己評価も実施した。

### 指導事例3 「日本史B」の人物学習における指導と評価

単元「織豊政権と幕藩体制の形成」において、特に重要な役割を果たした信長、秀吉、家康を順次とりあげ、主要な政策の目的や意義について考察させた。各人物の学習の区切りごとに確認テストと生徒の自己評価を実施して、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図り、まとめとして、3人を比較したレポートを作成させ、それぞれの政策を総合的に考察させた。

< 研究協力員 >	栃木県立足尾高等学校	教 諭	齋藤 信行
	栃木県立田沼高等学校	教 諭	大嶋 俊彦
	栃木県立馬頭高等学校	教 諭	安達 崇志
< 研究委員 >	栃木県総合教育センター	研 修 部	副 主 幹 皆川 純男
	栃木県総合教育センター	研 究 調 査 部	指 導 主 事 杉山 正明